

おひさま ニュース

2019

夏

号

7月15日発行



ホームページ

〒294-0014 千葉県館山市山本1155番地
TEL:0470-25-5111 <http://www.awairyo.jp/>
発行責任者：福内正義 編集責任者：根本達也

外来のご予約は 0470-25-5121へ
受付時間／月～金曜日8:30～17:00 土曜日8:30～12:00
※安房医師会とは異なりますのでご注意ください



地域包括ケア システムについて

安房地域総合相談センター
センター長 香田道丸



最近「地域包括ケアシステム」という言葉を良く耳にしますが、みなさまご存知ですか？ 具体的には、介護が必要な状態になっても可能な限り住み慣れた地域で自分らしい自立した生活を最期まで送ることができるよう、必要な医療・介護・福祉サービス等を一体的に提供し、支えあうことができる地域づくりのことです。団塊の世代が75歳を迎える2025年を目途に、厚労省が推進する包括的なサービス支援体制の構築を目指すものです。

2013年の国勢調査では、団塊の世代以降の未婚率が急増し、45才以上の3割弱が独身であるという報告もあります。安房地域の実情はどうでしょう？ この頃は旅番組でも度々取り上げられ、温暖で風光明媚な観光地として注目されていますが、主産業である農業・漁業等の1次産業の担い手不足に加え、大きな企業も少ないため、若者の人口流出に歯止めがきかず、高齢化率は県内トップクラスです。介護者不足による通院困難や買い物難民、生活困窮等、様々な問題が提起されています。当院に来院される患者さまもそれぞれに不安や悩みを抱えている方が少なくありません。入院患者さまのうち後期高齢者の割合が高く、独居や高齢世帯の方も多く

見受けられます。治療が終了しても病気やけがの後遺症による歩行困難や、認知症状の出現で目が離せない状態に陥ることも珍しくありません。退院を希望しても、独居や介護者不在では自宅に戻ることできません。また、限られた年金収入では医療費負担が重く、入院や検査そのものを希望されない方もいます。「地域包括ケアシステム」の構築は安房地域においても喫緊の課題であり、行政や医療機関が一体となり、まちづくりに取り組む必要があるのです。

当院では、こうした患者さまの不安や心配事の相談をお受けし、解決に向け支援する部署として「安房地域総合相談センター医療・福祉相談室」を開設しています。医療ソーシャルワーカーや退院支援看護師が患者さまの状態を把握し、安心して退院できるようお手伝いします。各市町の福祉行政や保健所、地域包括支援センター、ケアマネジャー等と情報共有し、介護保険サービスにつなげ、公的な福祉制度や社会資源に結びつこう調整しています。福祉制度だけでは立ちゆかない経済的不安や医療費のご相談等には、当法人が独自に立ち上げた無料低額診療事業を紹介し、安心して治療に臨めるよう支援しています。

安房地域総合相談センター医療・福祉相談室の事務所は、患者さま駐車場と病院との間の車庫の棟続きに設置されています。病気は一家の一大事です。不安や心配事がある時は、是非ご一報ください。



安房地域総合相談センター
医療・福祉相談室
☎0470-25-5030

月～金	9:00～12:00 13:00～17:00
土	9:00～12:00

診療科のご紹介	総合診療科	消化器内科	循環器内科	腎臓内科	糖尿病甲状腺 内分泌内科	脳神経内科
	小児科	リウマチ・膠原病・ アレルギー内科	膠原病内科	呼吸器内科	皮膚科	腫瘍内科
	外科	肛門科	整形外科	スポーツ整形	形成外科	乳腺外科
	救急科	透析科	泌尿器科	甲状腺外来	リハビリ テーション科	

救急科



当院は年齢や性別を問わず、軽症から重症まで対応する北米型ER体制です。例えばみぞおちの痛みがある場合、胃の痛みは消化器内科、心臓の痛みは循環器内科の受診をしますが、どの臓器の痛みかわからなくても、胃穿孔や心筋梗塞^{いせんこう しんきんこうそく}という緊急性の高い疾患は、生命の危機に瀕します。このような急性疾患を専門とする科が救急科です。診断がつけば、初期治療を行いつつ各専門医と連携をとり、治療を継続して行きます。

救急科では、日中は複数の医師(うち救急科専門医1名)、夜間休日は非常勤医師の応援により、24時間365日救急診療を行っています。当院は研修医療機関になっており、まずは研修医が診察をします。息がない、血圧が測れないなど生命の危機が切迫している場合は優先的に対応をします。混雑時は看護師によるトリアージ(重症度によって治療の順番を決めること)を行い、今すぐ命に関わらないと判断された場合は、待ち時間が

5～6時間近くになることがあります。受診希望の場合はそれをご了承の上でお待ちいただいておりますが、日中であれば近くの一般医療機関や、夜間であれば翌朝以降の受診もご検討ください。また、他の医療機関が閉まった後は患者さまも多く、待ち時間は更に延びやすいので、日中の受診をおすすめします。

2018年度より、当院に赴任し救急診療に尽力させていただいております。同年度の安房圏内からの救急車受け入れ台数は年間2,722台を記録しました。安房圏内では当院が最も受け入れをしており、亀田総合病院をも越えます。内訳は、入院や特別な治療を要さない患者さまが多いのですが、このような患者さまが高度医療機関へ殺到すると重症の患者さまへの対応ができなくなるため、当院が地域の受け皿となることは非常に重要です。みなさまのご理解とご協力で、この安房地域の医療資源を守っていきましょう。

救急は予約制ではありませんが、事前にご連絡ください

☎ 0470-25-5111

ふじえ さとし 救急センター長
藤江 聡

(写真・前列中央)

出身地：東京都

趣味：バレーボール、映画鑑賞

房総の好きなところ：

暖かい気候と環境。冬は…



救急のふじえ先生がお答えします!



その1

熱中症はどういうところに
気をつけたらいいの?

熱中症は、体内で作られるエネルギーで発生する熱と、汗をかくなど外へ発散する熱のバランスが崩れることでなります。体温が高くなると脱水になったり、汗をかくことで電解質の異常を伴う事も多くあります。軽症の場合は、めまい・立ちくら

み・生あくび・足がつるという症状ですが、休息と補水で十分回復します。**重症になると、意識がなくなったり痙攣が起きます。そのような場合は直ちに病院にかかりましょう。**

汗で失った電解質を補うため経口補水液やスポーツドリンクを摂ることが大事ですが、熱が体にたまらないように冷房などの利用や直射日光を避ける工夫もしましょうね。



HCU 紹介

HCU 看護師長（救急センター師長） 山岸智子



7月1日より救急棟1FにHCUを開床いたしました。

HCUとは「^{ハイ}High ^{ケア}Care ^{ユニット}Unit」の頭文字をとったもので「高度治療室」のことです。ICU「集中治療室」と一般病棟の間に位置する病棟です。主に中枢神経・呼吸・循環・代謝の異常・急性の臓器障害を呈し、呼吸や循環管理を必要とする患者さまが入室します。

また、救急センターには緊急性の高い患者さまが受診される為、入院が必要と診断された時には円滑に入院できるように救急とHCUが連携をとっていきます。

ベッド数は5床（看護体制5対1）で入院患者さま5人に対し、各勤務帯に2名以上の看護師を配置しています。



病状が安定した入院患者さまは、早ければ同日、もしくは翌日には一般病床へ転室となります。

部屋は全個室で、それぞれ隣の部屋の様子を医師や看護師が確認できるよう、ロールカーテンが設置されています。また、24時間体制で患者さまを厳重に観察するため、呼吸数や血圧、心電図などの情報を記録、管理するモニタリング機器なども全室に備えています。

開床間もない為、7月以前から勉強会を開催し、正しい情報、正確な判断ができるよう学びを深めてきました。医師や他職種との連携を密にし、患者さまが安心安全に入院していただけるように努めてまいります。



おひさまキッチン

経口補水液とは別名「飲む点滴」とも呼ばれ、体内に長く水分を留めておけるよう、電解質（ミネラル）と糖質の配合バランスを考慮した飲物です。イオン飲料やスポーツドリンクは飲みやすくなっていますが、経口補水液より電解質の成分が半分以下で糖分が多く配合されていて、似た働きはあるものの脱水症状に対する効果は劣ります。

注意しましょう

- 心臓、腎臓、血圧等で治療中の方は必ずかかりつけ医師の指示に従いましょう
- あくまで手元に市販のものが無い場合の緊急用とし、保存はせずにその日のうちに飲みきりましょう
- 熱中症や脱水の症状が出た場合は、必ず病院にかかるようにしてください

急な時のための

自家製経口補水液

管理栄養士 出口恵美子

★ 補水液の作り方 ★

沸騰させた水1リットルに対して塩3g、砂糖20～40gを加えて出来上がりです。レモンやライムなど柑橘系の絞り汁を大さじ1程度加えたり、黒酢やりんご酢を小さじ3～4杯加えると、飲みやすくなります。



★ 具体的な飲み方 ★

乳幼児は体重1kgに対して1日50ml～100mlの量を3～4時間かけて飲ませましょう。
学童から高齢者を含む成人は1日500ml～1000mlを1回200ml位に分け、ゆっくり時間をかけて20ml位の量を何度も繰り返し飲んで下さい。
熱中症による脱水状態の時だけでなく、風邪や腸炎による下痢やおう吐、二日酔いやこむら返りにも効果があります。

トピックス

房総メディカル
アライアンス情報

房総メディカルアライアンスに関わる新たな情報をお伝えいたします。(参照: 2019年春号一面)

富山国保病院

- 4月より、整形外科の外来担当医師の増員
- 安房地域医療センターの薬剤師が、薬事委員会に参加(月1回)
- 安房地域医療センターと同一の薬剤や診療材料に変更を開始
- 一般病床と療養病床を、5月から地域包括ケア病床に転換

安房地域医療センター

- 4月より、富山国保病院医師が救急外来で診療支援を開始
- 富山国保病院ソーシャルワーカー 1名の研修と、薬剤師 1名の見学

お空に願いを
～保育所七夕会～

ひまわり保育所では、今年も色とりどりの七夕飾りを作りました。

お星さまや天の川の短冊を燃やししながら、みんなの歌声と一緒にお願いごとをお空に届けました。



どんなお願いごとを書いたのかな？みんなの夢がかないますように…。

編集
後記

おひさまニュース
バックナンバー

当院は、2008年(平成20年)の委譲により、「安房医師会病院」から「安房地域医療センター」となりました。11年が経ち、「安房地域医療センター」の名称もなじんでいただけたようになってきたかと思っております。ですが、いまだ旧名称でのお問い合わせや電話のかけ間違いなどもあり、ご

スプリングコンサート



4月6日(土)館山市のコーラスグループ「レインボーコーラス」と二期会所属のソプラノ歌手、真野綾子さんによるコンサートが開催されました。会場となった当院2階講堂は、入院中の患者さまやご家族さま、一般の来場者や職員など約100名で満席となりました。

色とりどりの衣装をまとったグループのみなさんは、オーシャンゼリゼを歌いながら軽やかに登場！真野さんによる独唱や、春の歌のメドレー、バラを持ちながら歌った「百万本のバラ」、手話をまじえた「ふるさと」など、趣向を凝らした演出は、春の華やかなひとときに花を添えました。

売店の営業時間について

4月1日より地下1階売店の営業時間が変わりました。ローソン移動販売車は従来通りです。

	営業日	営業時間
地下1階 売店	月曜～土曜	9:00～17:00
	日曜・祝日	10:00～14:00
ローソン 移動販売車	月曜～金曜 (祝日は休)	11:00～13:30

迷惑をおかけしている方々には深くおわび申し上げます。今後も「安房地域医療センター」をより多くの方々に知っていただけるよう、一層の努力をまいります。

令和元年1回目の発行である今号から、1面に予約の電話番号等を表示することといたしました。お電話の際には、代表番号とあわせてこちらの番号のご利用をお願いいたします。



じゅんべりい